



学校全体が一丸となって

校長 矢崎 真理

令和4年度がスタートしました。わたくしは、岸谷小学校に着任して4年目の春を迎えました。今年度も岸谷小学校にいらることができて、本当にうれしくありがとうございます。年度始めは特に、わたくしの長年の教育ビジョンである「かけがえのない一人一人を大切に」を実感する大切なときです。新たな年度の始まりに、身が引き締まります。今年度も、どうぞよろしく願いいたします。

3月18日（金）に、第81回の卒業証書授与式が行われました。

6年生は大変立派な態度で、小学校生活最後の授業である卒業式と、1年生から5年生と一緒に卒業を祝う会（集会）を行いました。当日はずっと前から雨マークが付いていた、冬に逆戻りのような寒い寒い日でしたが天も味方をしてくれたようで、式終了まで雨が降ることはなく対面形式でしっかりと卒業を祝う会を行うことができ、6年生としての最終日の姿を後輩たちに示してくれました。後輩代表の5年生は、16日の令和3年度第1回卒業証書授与式（例年は予行練習）に、緊張しながらも1年後の自分たちの姿を思い浮かべながら、きちんとした態度で参加していました。岸谷小学校の伝統のバトンが渡ったと思いました。バトンを受け継いで、いよいよ新6年生として「岸谷小学校の顔」になります。

第2回卒業証書授与式（当日）は、シンプルですが厳かに行われ、一人一人が大変すばらしい態度、所作で証書を受け取り、すがすがしく岸谷小学校を巣立っていきました。

25日（金）の修了式・離任式を行って今年度を締めくくりましたが、今年は18日に2名の欠席者がいましたので、初の試みではありましたが、「当日とできるだけ同じ形で式を行おう。」と教職員一同気持ちを揃えて会場をはじめとして準備を整え、15時から第3回卒業証書授与式を行いました。一足先に卒業証書授与式を終えた6年生の仲間たちが学級の枠を超えて都合のつく人は皆、ほとんどが当日と同じ装いで参加し、二人の証書授与を見守り、校長式辞を聴き、「旅立ちの日に」の歌を歌い、まさにこの時、72名全員が卒業を迎えることができました。

コロナ禍にあってさまざまな制限がある2年間を過ごした6年生ですが、その状況を前向きにとらえ、「今できることを積極的に行う。」ことを目指して、実際に活動してきた子どもたちです。子どもたち、教職員、学校が一丸となる力を最終日にも見ることができ、校長として大きな喜びを感じました。

そして4月7日、本日、岸谷の子どもたちが新年度を迎えるにあたり、力強い命の表出を感じさせる春が、校庭のチューリップやヒヤシンスなど色とりどりの花に表れています。新たなスタートにふさわしい明るくて爽やかな彩りに、心はずむ思いがします。

65名の新1年生のみなさん、そして保護者の皆様 岸谷小学校へようこそ。ご入学おめでとうございます。

新2年生、新3年生、新4年生、新5年生、新6年生のみなさん、そして保護者の皆様 ご進級おめでとうございます。岸谷小学校で学校生活を送ってよかったと誰もが思える1年間にするために、教職員一同が心一つにして、丁寧に、一歩ずつ進んでいきたいと思っています。

コロナ禍にあることは変わりません。でも、学校は学びをとめません。

子どもたちには、今年度も繰り返し繰り返し「優しくね 優しくね 優しいことは強いだよ。」と言い続けます。「優しい心の教育」を推進し特別支援教育（一人ひとりに一番適した教育を実践すること）をベースにして、一人ひとりの子どもたちが輝けるための個に応じた活躍の場を設定することを目指します。私の理念を理解した教職員集団が、全力で学校運営に参画します。同じ方向に向かって「力強い チーム岸谷」で進んでいきます。

あらためまして、保護者の皆様、地域の皆様、今年度もご理解とご協力を、よろしく願いいたします。